

# 日本語部

## Japanese Language Ministry

2024年9月1日

シリーズタイトル: 傑作の誕生

今週のタイトル: **人生における三つの確かなこと**

創世記 49:28 - 50:26

レイ・ハームズ・ウィーブ牧師

始まりの書である創世記は、エジプトで棺に納められたヨセフについての記述で終わります。

牧師であることの賜物の一つは、墓前に立つ特権を持つことです。私は、最期の時までとても良い人生を送った方々が亡くなった後、ご家族や友人が集まってその人の人生を心から祝福し、その死を悼む中で、ご一緒にお墓の前に立ったことが何度もあります。遺された人々は、永遠に旅立ったその人について語っても語り尽くすことはありません。

また、神に対する心の硬さや壊れた人間関係のために、良く生きられなかった方々の葬儀に参加するという特権もありました。参列した人々は、長い痛みの跡を思い出しながら涙を流していました。

### 礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

### 教会からのお知らせ

申込先はこちらより: [http://eepurl.com/dC\\_JaL](http://eepurl.com/dC_JaL)

なぜ墓前に立つことが特権なののでしょうか？伝道者の書7章2節の知恵の言葉を聞いてください。「悲しみの家にはいるのは、宴会の家にはいるのにまさる。死はすべての人の終りだからである。生きている者は、これを心にとめる。」

自分が決して死なないかのようにパーティーに明け暮れる人は愚か者です。墓前で葬儀に参列する方がずっと優れています。なぜなら、そこで私たちは何が本当に重要かを考えることができるからです。そして、死を直視すれば、毎日を本当に充実させて生きることができるのです！

死はすべての人に確かに訪れます。生きている間、私たちは何に人生を賭けることができるのでしょうか？確かなことが三つあるとすれば、それは何でしょうか？

1. 神の預言的な予告は確かです（それに人生を賭けましょう）。
2. 神の摂理は確かです（それに安らぎましょう）。
3. 神の赦しは確かです（それを自分のものにしましょう）。

### 創世記 49:28 - 50:26

28 これらはすべて、イスラエルの部族で、その数は十二である。これは彼らの父が語り、祝福した言葉である。父は彼らを、おのおのにふさわしい祝福をもって祝福したのである。

29 ヤコブは息子たちに命じた。

「間もなくわたしは、先祖の列に加えられる。わたしをヘト人工フロンの畑にある洞穴に、先祖たちと共に葬ってほしい。30 それはカナン地方のマムレの前のマクペラの畑にある洞穴で、アブラハムがヘト人工フロンから買い取り、墓地として所有するようになった。31 そこに、アブラハムと妻サラが葬られている。そこに、イサクと妻リベカも葬られている。そこに、わたしもレアを葬った。32 あの畑とあそこにある洞穴は、ヘトの人たちから買い取ったものだ。」

33 ヤコブは、息子たちに命じ終わると、寝床の上に足をそろえ、息を引き取り、先祖の列に加えられた。

1 ヨセフは父の顔に伏して泣き、口づけした。2 ヨセフは自分の侍医たちに、父のなきがらに薬を塗り、防腐処置をするように命じたので、医者らはイスラエルにその処置をした。3 そのため四十日を費やした。この処置をするにはそれだけの日数が必要であった。エジプト人は七十日の間喪に服した。

4 喪が明けると、ヨセフはファラオの宮廷に願い出た。

「ぜひともよろしくファラオにお取り次ぎください。5 実は、父がわたしに誓わせて、『わたしは間もなく死ぬ。そのときは、カナンの土地に用意してある墓にわたしを葬ってくれ』と申しました。ですから、どうか父を葬りに行かせてください。わたしはまた帰って参ります。」

6 ファラオは答えた。「父上が誓わせたとおりに、葬りに行って来るがよい。」

7 ヨセフは父を葬りに上って行った。ヨセフと共に上って行ったのは、ファラオの宮廷の元老である重臣たちすべてとエジプトの国の長老たちすべて、8 それにヨセフの家族全員と彼の兄弟たち、および父の一族であった。ただ幼児と、羊と牛の群れはゴシエンの地域に残した。9 また戦車も騎兵も共に上って行ったので、それはまことに盛大な行列となった。

10 一行はヨルダン川の東側にあるゴレン・アタドに着き、そこで非常に荘厳な葬儀を行った。父の追悼の儀式は七日間にわたって行われた。11 その土地に住んでいるカナン人たちは、ゴレン・アタドで行われた追悼の儀式を見て、「あれは、エジプト流の盛大な追悼の儀式だ」と言った。それゆえ、その場所の名は、アベル・ミツライム（エジプト流の追悼の儀式）と呼ばれるようになった。それは、ヨルダン川の東側にある。

12 それから、ヤコブの息子たちは父に命じられたとおりに行った。13 すなわち、ヤコブの息子たちは、父のなきがらをカナンの土地に運び、マクペラの畑の洞穴に葬った。それは、アブラハムがマムレの前にある畑とともにヘト人工フロンから買い取り、墓地として所有するようになったものである。

14 ヨセフは父を葬った後、兄弟たちをはじめ、父を葬るために一緒に上って来たすべての人々と共にエジプトに帰った。

15 ヨセフの兄弟たちは、父が死んでしまったので、ヨセフがことによると自分たちをまだ恨み、昔ヨセフにしたすべての悪に仕返しをするのではないかと思った。16 そこで、人を介してヨセフに言った。「お父さんは亡くなる前に、こう言っていました。

17『お前たちはヨセフにこう言いなさい。確かに、兄たちはお前に悪いことをしたが、どうか兄たちの咎と罪を赦してやってほしい。』お願いです。どうか、あなたの父の神に仕える僕たちの咎を赦してください。」

これを聞いて、ヨセフは涙を流した。18 やがて、兄たち自身もやって来て、ヨセフの前にひれ伏して、「このとおり、私どもはあなたの僕です」と言うと、19 ヨセフは兄たちに言った。「恐れることはありません。わたしが神に代わることができましようか。20 あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです。21 どうか恐れなくてください。このわたしが、あなたたちとあなたたちの子供を養いましょう。」

ヨセフはこのように、兄たちを慰め、優しく語りかけた。

22 ヨセフは父の家族と共にエジプトに住み、百十歳まで生き、23 エフライムの三代の子孫を見ることができた。マナセの息子マキルの子供たちも生まれると、ヨセフの膝に抱かれた。

24 ヨセフは兄弟たちに言った。

「わたしは間もなく死にます。しかし、神は必ずあなたたちを顧みてくださり、この国からアブラハム、イサク、ヤコブに誓われた土地に導き上げてくださいます。」

25 それから、ヨセフはイスラエルの息子たちにこう言って誓わせた。

「神は、必ずあなたたちを顧みてくださいます。そのときには、わたしの骨をここから携えて上ってください。」

26 ヨセフはこうして、百十歳で死んだ。人々はエジプトで彼のなきがらに薬を塗り、防腐処置をして、ひつぎに納めた。

# ウィリンドン教会 同時通訳クイックスタート案内

事前に行う事及び持参するもの：

- ・ 自宅で手順 1 を実行します。
- ・ イヤホンをお持ちください。

(イヤホンは鍵かクレジットカードを通訳デスクに預けて借りることもできます)

**要注意：**周りの人たちに配慮しましょう。イヤホンをしないで携帯電話から聞くことは正しいことではありません。

**注意：**通訳ネットワークを使用している時にはインターネットに接続できません。

1、アップル App Store または Google Play ストアから「Listen Everywhere」をダウンロードします。



または、このQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



2、「ウィリンドン通訳」Wi-Fi ネットワークを選択してください。ネットワークに接続するためのパスワードはありません。

3、アプリを開き、言語を選択します。